



# バタバタ茶にびるだん和紙…… 海も山も、食も文化も楽しめる! 富山県・朝日町を訪れてみませんか?



3月24日、大阪府立中之島図書館2階にあるカフェ「スモーブローキッチン ナカノシマ」へ行ってきました。この日、富山県・朝日町が取り組む朝日町燻製×スモーブローキッチン ナカノシマ/朝日町燻製カフェ大阪試食会・プレス会」があり、参加させて頂いたのです。

自然豊かなまち・朝日町の燻製や海の幸、山の幸が「スモーブローキッチン ナカノシマ」とのコラボで、見事な燻製を使った料理となつて振る舞われたのですが、素材の旨味が活きたその優しい味わいにとって

も感動。さらに、朝日町の名物といえば、2本の合わせ茶筌でばたばたと音を立てながら振り泡立てて飲む「バタバタ茶」。朝日町・蛭谷(びるだん)地区で飲み継がれているお茶文化とのことです。初めて、その体験をさせてもらい、地域で育まれた豊かな文化と味わいにまたまた感動したのでした。また、隣接した展示室では「びるだん和紙を愛した作家たち特別展」が開催され、こちらも見応えがありました。

朝日町は、富山県の東端に位置し、全国でも珍しいヒスイの原石が拾える「ヒスイ海岸」や、3000mの山々が連なる北アルプス立山連峰、朝日岳と、海と山に囲まれた町です。春には、雪残る山と桜並木とチューリップ、菜の花が織りなす「あさひ舟川春の四重奏」。夏は、国

の快水浴場百選、日本の渚百選にも選定されている東西4kmにも広がる「ヒスイ海岸」での海水浴、冬はスキー、そして新鮮な山の幸、海の幸…と、魅力満載。料理をいただき、説明を聞き終わる頃には、すぐにも訪れたい気持ちになつていました!

南河内から、車で約5時間。電車ならサンダーバードと北陸新幹線で到着すれば、山と海に囲まれ、素朴でどこか懐かしい朝日町の風景にホッと心が癒されることでしょう。ゴールデンウィークや夏休みの行き先を検討中なら、ぜひ候補の一つにしてみてはいかがでしょうか?

「いつてみたい、住みたい朝日町」ブランドづくりプロジェクト  
もっともっと朝日町  
<http://asahimma.com>